

名前：サナド・マサナツト

題：男女格差について

この時代、色々な社会問題があります。貧困や人種差別のような問題があるが、一番大切な問題は男女格差と考えます。日本には、それはまだあるから、もし女の人と男の人が同じ仕事に応募すれば、男の人が最優先にされるけど、その考えは少しずつ変わっています。例えば Salesforce という会社があります。

日本の大学生にアンケートが行われました。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」について、「賛成」と「どちらといえば賛成」と答えた学生の一番人気の理由は「妻が家庭を守った方が、子供の成長にとって良いと思うから」でした。しかし、日本人の若者はよく日本社会と外国の社会を比べる機会があるから、彼らは日本社会を外国の社会みたいに変えたいと思っていますと感じました。そして、日本人の友達と話したとき、日本は女性の校長先生が少ないという話を聞いたことがあります。また、結婚後や子供が生まれるとき、女性は仕事を辞めることを期待されているという話も聞いたことがあります。

日本の男女格差と中東の国々の男女格差はだいたい同じだから、私は色々な考えがあります。私の最初の考えは、結婚後や育休後も、女性は働くことをやめないほうがいいと思います。もしビルボードや雑誌、テレビ広告などを使えば、働いている女性が「やめないほうがいいかも」と考えるかもしれません。そして、もし妻と夫と一緒に働けば、たくさんお金をもらえます。さらに、日本の会社には女性のリーダーがあまりいません。そこで私は、会社における女性の役員比率を引き上げることを提案します。そうすればその会社は国から資金をもらえるようなシステムにする。

男女格差は大変な問題です。カナダにも男女格差があるけど、カナダの政府は男女平等を叶えるため支援しています。だから、一番大切なポイントは日本の政府が日本の女性を支援したほうがいいと思います。